

平成30年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告

区市町村名 武蔵村山市

学校名 武蔵村山市立第一小学校

1 事業目的 協議会名 武蔵村山市立第一小学校グリーンサポーター会

学校と地域とが協力しながら、芝生の維持・管理及び活用を推進することを通して、地域と学校、それを取り巻く人々との触れ合いを深め、児童の心身の成長や発達、地域の教育力の向上を目指す。

2 主な取組と成果

武蔵村山市立第一小学校グリーンサポーター会を発足し、活動の目的や年間の活動について協議し、下記の活動を行った。

- 児童の委員会活動にグリーン委員会を位置づけ、毎月一回児童による芝刈りを実施。
- 全校芝刈DAYを7月と9月に設け、全校児童と保護者で実施。
- 定期的な芝生の維持管理の実施。
- ミストシャワーの設置。
- 7月の夏のレクレーションの中での、芝生フェスティバルを実施し、来場した。
- 毎月のグリーン委員会の実施により、芝生の状況や活用について意見交換が深まった。
- 芝生を活用した、地域団体との交流会の実施で、地域との連携を深めることができた。
- 芝生を活用した、動物教室を実施し、児童の情操教育に役立てることができた。

3 具体内容

1 芝生フェスティバルの実施。 場所 校庭 7月 参加者 保護者 児童 地域 約300名  
(内容)夏の地域フェスティバル プラスバンド児童による芝生コンサートを実施。芝生と取り付けたミストシャワーの効果もあり、大盛況であった。



2 芝生を活用した、動物教室

場所 校庭 参加者 4年生児童70名

(内容)東京農工大学の教授を招いて、山羊の生態とえさの草や消化について芝生の上で学んだ。刈った芝を飼料とすることも教わった。

4 今後について

- ・芝生の養生期間に、さんさんネットを張り、芝生が活用できるようにする。
- ・12月に保育園との交流会を実施し、芝生の上でのゲーム大会を行う。その中で、就学前の子どもの交流を深める。また、地域の障害者施設との連携も同様に行う。
- ・1月に餅つき大会を実施する。その中で、芝生の上に臼を置き、餅をついたり、催しを行う。撞いた餅を提供するために芝生の上にテントを張り、飲食コーナーとして活用する。
- ・年間を通して芝生を活用することで、学校と地域の連携を深め、地域一体となって児童の育成を図ることができる。また、校庭の芝生により緑を大切に思い、自然や生命を尊重する姿勢を育む効果を目指していく。